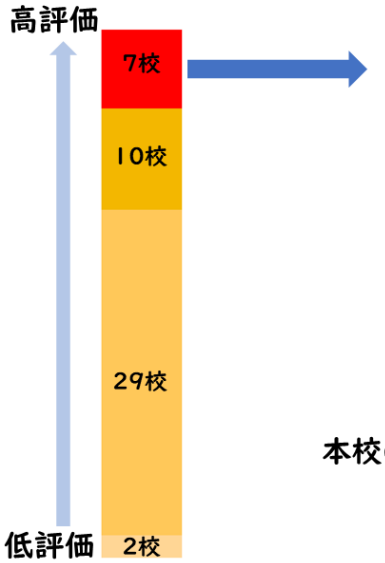
SSH NEWS
熊本北高等学校
SSH研究部
2025.3.19
北高SSHニュース
Vol. 367

最上位評価！熊本北高校

文部科学省　令和6年SSH中間評価結果



熊本北高校

対象校　47校中

最上位評価

本校のSSH事業が全国的にも高い評価を受けています

１月21日（火）、文部科学省Webページにおいて、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）中間評価」の結果が公表されました。SSHの中間評価は、指定から3年目の学校を対象として、各校がすすめる研究開発の進捗状況などについて、文部科学省が外部の有識者による評価を行うものです。5年間の指定で1度だけ行われるものになります。今年度、第Ⅲ期の3年目にあたる本校は、本校が取り組んだ研究開発について、最上位グループに入る評価を受けることができました。
（対象校47校中）

[1　中間評価の結果]
これまでの努力を継続することによって、研究開発の狙いの達成が可能と判断される。
[2 中間評価における主な講評]
① 研究開発計画の進捗と管理体制、成果の分析に関する評価
【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】
② 教育内容、指導体制等に関する評価
【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容がおおむね達成されている】
③ 外部連携・国際性・部活動等の取組に関する評価
【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されていると思われるもののうち、特に程度が高い】
④ 成果の普及等に関する評価
【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容がおおむね達成されている】
⑤ 管理機関の取組と管理体制に関する評価
【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容がおおむね達成されている】

※文部科学省HP「熊本北高校【Ⅲ期3年目】のSSH中間評価結果について」より抜粋

SSH NEWS

令和６年度熊本北高校ハイブリッド型ＳＳＨ成果発表会 開催

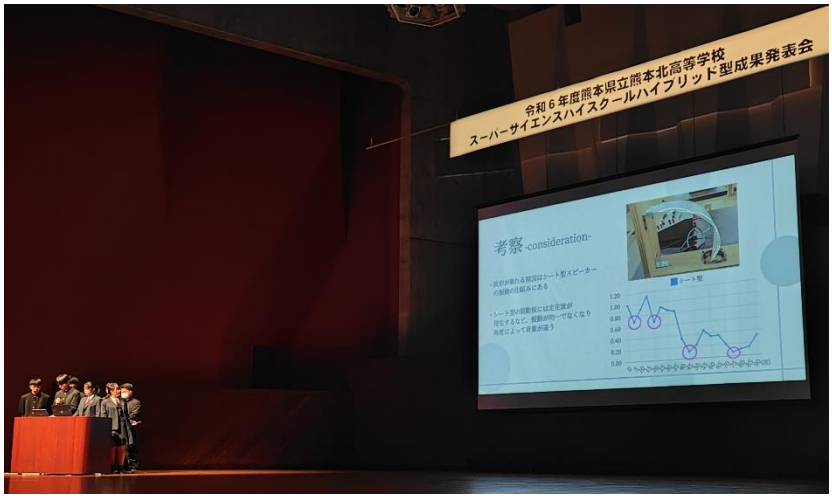


図１ 発表会の様子

３月１４日(金)、熊本県立劇場にてSSH成果発表会を行いました。保護者の方、県内外の学校関係者の方にもご来場いただき、同時にオンラインでの配信、質疑応答も行いました。卒業生講演では本校３５期生の福田大輝氏から「私が大学で学んでいること」との題で、高校時代の取組みと大学での研究、今後の展望について話していただきました。

発表では放送部生徒の進行のもと、各分野の代表班が、これまでの取り組みや探究活動の成果を発表し、SSH運営指導員の先生方や生徒から様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。

審査の結果、自然科学部が最優秀賞に選出されました。自然科学部は、「令和７年度SSH生徒発表会」に学校代表として出場します。

テーマ一覧

【ARⅠ】ARⅠの活動について
【URⅠ】URⅠの活動について
【GRⅠ】Ginkgo and us
【GRⅡ】URUURU
~a game to learn about water~
【URⅡ】
・購買意欲を高めるポスター広告のデザインと効果について
・災害時におけるビタミン不足の解消と身近な薬草の安全性について
【ARⅡ】振動板の形状が音質に与える影響
【自然科学部】加熱による阿蘇黄土の色の変化について